

■携帯電話で図書館の蔵書が検索できます！



携帯電話（大手3社に対応）から県大図書館の蔵書が検索できるようになりました。開館カレンダーも確認できます。アクセス方法は次の3とおりです。

- 1 下記アドレスを入力してアクセス
<http://osirabe.net/aichi-pu/>
- 2 図書館のホームページから、上記アドレスを自分の携帯電話に送ることができます
- 3 右のQRコードを読み取ってアクセス→→→→→→→→



どんどんお使いください！

原稿募集

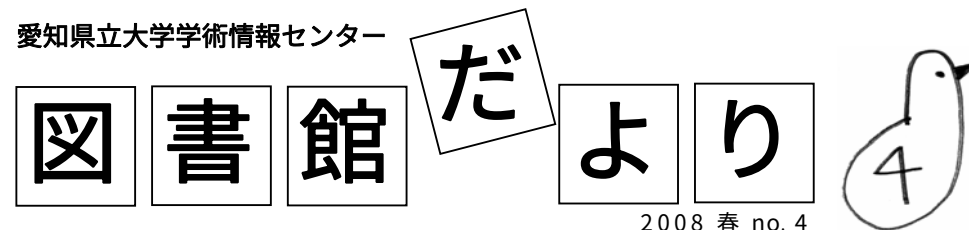
「図書館だより」では、「おすすめの本！」の原稿を募集しています。
図書館カウンターにある応募用紙に記入の上、応募箱に入れてください。
メール（etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp）でも受け付けます。件名を必ず「おすすめの本原稿」と書いて送信してください。いただいた中から、この欄に掲載します。

開館カレンダー

2008 4月							5月							6月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					④						1	2			2	3	4	5	6	
	⑦	8	9	10	11			⑧	7	8	9	10			9	10	11	12	13	
	14	15	16	17	18			12	13	14	15	16			16	17	18	19	20	
	21	22	23	24	25			19	20	21	22	23			23	24	25	26	27	
	28	29	30					26	27	28	29	30			30					

無印 9:00～21:20 ○印 9:00～17:00 ×印 休館

愛知県立大学 学術情報センター 図書館
E-mail etsuran@lib.aichi-pu.ac.jp
<http://www.aichi-pu.ac.jp/library/>



書物こそ心の自由の拠りどころ

『華氏 451』という映画をご存知でしょうか？もう 40 年以上も前、フランス・トリュフォーという映画監督が作った SF 映画です。この映画は消防士を主人公とする物語ですが、消防士といっても、未来都市では火事を消すのが仕事ではありません。書物を焼くのが仕事なのです。この都市ではあらゆる書物が禁じられており、住民たちが隠し持っている書物は見つかるたびに燃やされてしまいます。そう、映画の題名『華氏 451』とは「本が燃え上がる温度」なのです。しかし、この主人公は、ふとしたきっかけから本を読む喜びを発見し、そのため一転してこれまでとは逆の追求を受ける立場に立たされます。彼は森の中に逃げ込み、そこで一人一人が 1 冊の本を暗記してひっそりと暮らしているブック・ピープルと呼ばれる人々に出会います。モノとしての本は燃やせても、心の中の本までも消すことはできません。雪の舞う湖水のほとりを「書物人間」たちが記憶の中の本を朗唱しながら静かに行きかうラストシーンは、美しくも感動的です。

この映画は、書物こそ心の自由の拠りどころであることを物語っています。現実の世界にはさまざまな制約がありますが、本の世界は無限に自由です。書物を通して心の世界を大きく広げていくことは、一時の心の安らぎに留まらず、若いみなさんがこれから人生の中で出会うさまざまな現実的制約に挑み、変えていく勇気と知性を養う上でも、大学生活のもっとも大切な一部といえましょう。愛知県立大学の図書館には、50 万冊近い本がみなさんとの出会いを待っています。図書館は、そのよき出会いが実現するよう、「今月の 5 冊」や「おすすめの本」などの定期刊行物の発行や、各種の講座、企画展を用意して、みなさんのお越しをお待ちしております。

（学術情報センター長 加藤義信）